

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

パワーデバイス製作所 福山事業所

(2) 事業所の所在地

〒721-0924 広島県福山市大門町旭1-4

(3) 業種

細分類番号 2813 半導体素子製造業(光電変換素子を除く)

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は令和3年(2021)年度を基準年度とし、令和6年度(2024)の1年間とする。
(基準年度は本事業所を設立した令和3年(2021)年度とした)

3 計画の基本的な方向

私たちは、「環境ビジョン2050」「大気、大地、水を守り、心と技術で未来へつなぐ」の環境宣言のもと、環境問題につながる様々な要因の解決にむけて、一人ひとりの思いをつないで新しい価値の創造に挑戦し、持続可能な未来づくりに貢献します。

- (1)環境コンプライアンスの徹底と環境不具合の撲滅
法の順守・環境不具合発生時の迅速で確実な対応の継続等
- (2)環境経営の推進
事業活動におけるCO2排出量削減・2030年カーボンニュートラルに向けた取り組み等
- (3)環境マインドの育成とCSR(企業の社会的責任)視点による環境コミュニケーション推進
環境への取り組み状況をCSRの視点で社会に開示等

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	令和3（2021）年度	令和4（2022）年度
二酸化炭素	6,223	8,386

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	令和3（2021）年度	令和4（2022）年度
二酸化炭素	0	0

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	令和3（2021）年度	令和4（2022）年度
メタン	0	0
一酸化二窒素	0	0
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF ₆ NF ₃)	28.4	30.3

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 令和3（2021）年度	削減目標		目標年度 令和6（2024）年度
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂	6,223	0.7	44.2	11,453.8
非エネルギー起源CO ₂	0	#DIV/0!	0	0
メタン	0	#DIV/0!	0	0
一酸化二窒素	0	#DIV/0!	0	0
その他 温室効果ガス	28.4	0	0	28.4
温室効果ガス 実排出量総計	6,251.4	0.7	44.2	11,482.2
温室効果ガス みなし排出量	0	-	0	11,482.2
目標設定の考え方	エネルギー起源CO ₂ は生産負荷増に伴うエネルギー使用量の増加と省エネ施策の削減量を考慮した。 その他温室効果ガスは機器の新設・使用時の漏洩量であり、削減量は見込めない事から令和6年度目標は令和3年度実績をスライドとした。			

※ 削減率 (b) = (c) / (a) × 100 削減量 (c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量（t-CO₂）、原単位量（kg等）、削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 () 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和 () 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂				#VALUE!			
非エネルギー起源CO ₂				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス				#VALUE!			
総排出量				#VALUE!			
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	-	-		0.0	-	-	
目標設定の考え方							

※ 削減率 (d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位 (c) = (a) / (b) 原単位見込 (g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置及び目標並びに具体的な取組等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	空調機器の運転効率化	電力 20.6t-CO ₂ /年削減	空調機器の給気温度の設定変更(21℃→20℃)による 冷凍機の負荷軽減
2	空調機器の運転効率化	温水・冷水に関する熱量 23.6t-CO ₂ /年削減	空調機器の給気温度の設定変更(21℃→20℃)による 温調器の負荷軽減
3			
4			

※ 「原単位」で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること。

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合 計 量
1	無し	—
2		
3		

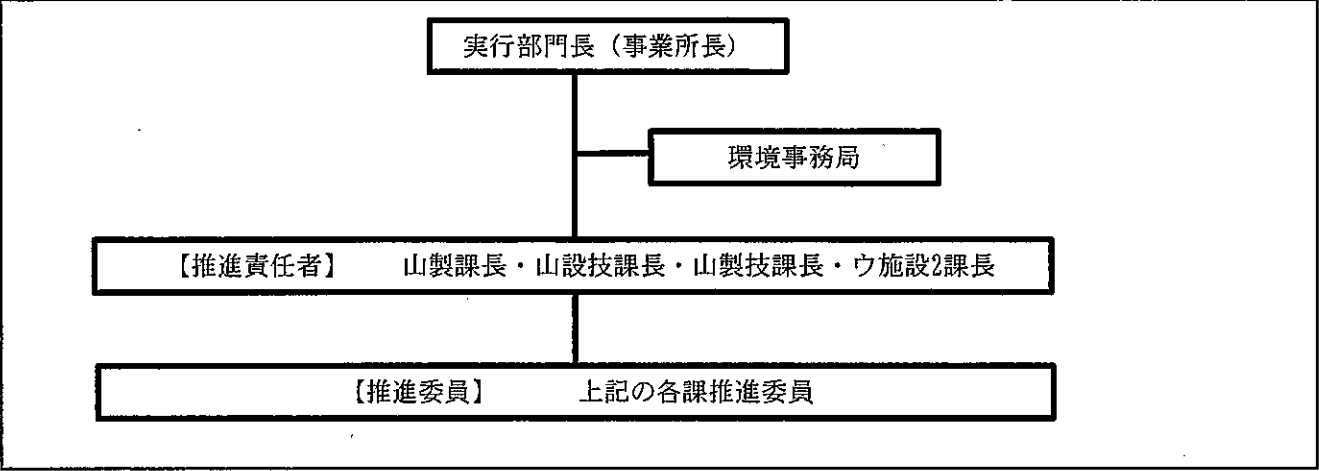
○ その他の取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	プラスチック排出物の有効利用率向上	—	新規処理委託となるプラスチック排出物の有効利用率が92%以上の継続
2	水使用量の管理	—	水使用量の月次データの把握及び本社への報告
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

環境事務局を中心として温室効果ガスの排出量削減への取り組みを検討し、継続的な削減を図る。

(3) 計画書等の公表

温室効果ガス削減計画書は事業所に備え付けて閲覧可能とする。

事業所位置図

